

ロンドン、2017年3月23日

米国のゲルダウ社カーターズヴィル工場向けに連続鋳造機の改造工事を受注

- 改造により、鋳造可能なビームブランク形状の種類が拡大

Primetals Technologies は、ゲルダウ社（Gerdau）から、米国のジョージア州カーターズヴィルにある同社工場向けに連続鋳造機改修工事を受注しました。この改修プロジェクトにより、生産可能なビームブランク形状の種類が増え、土木および建設業界向け大型製品の圧延生産が可能となります。改修後の工場の運転開始は、2017年末の予定です。

改造される4ストランド（条）方式の連続鋳造機は、Primetals Technologies が1998年から1999年にかけて納入したもので、湾曲半径は8メートル、凝固完了長さは23メートル、鋳造能力は年産69万2千トンです。現状では、低炭素鋼から中炭素鋼のビレット（方形）2種、ブルーム（長方形）2種、ビームブランク（H形*1）1種の生産が可能ですが、今回の改修により、さらに大型のビームブランク形状の鋳造が可能となります。

Primetals Technologies は、基本および詳細エンジニアリング、追加される大型ビームブランク形状用の鋳型、鋳造セグメント、ダミーバーシステム、引抜ユニットの製造・供給に加えて、新たなビームブランク形状に適合した二次冷却システムの新設を担当します。

ゲルダウ社は、南北アメリカを代表する条鋼メーカーで、ブラジルに本拠を置き、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジアを含め14か国に生産拠点を有しており、生産能力は合計2,500万トンに及びます。同社は米国およびカナダで、棒鋼、特殊棒鋼（SBQ：special bar quality）、鉄筋、構造用鋼、平鋼、ワイヤーロッドを含む最終製品を年間約1,240万トン生産できる設備能力を保有しており、今回のカーターズヴィル工場では、建築用のブラケット、チャンネル鋼、H型鋼などの製造を主に行っています。

*1 ビームブランク：両端が膨らんだH型もしくはバーベル型に中間がくびれた断面形状を持つ鑄造半製品。



Primetals Technologies はゲルダウ社の米国ジョージア州カーターズヴィル工場向けに連続鑄造機改造を受注。本プロジェクトにより、生産可能なビームブランク形状の種類が拡大。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49% です。発足時の従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com